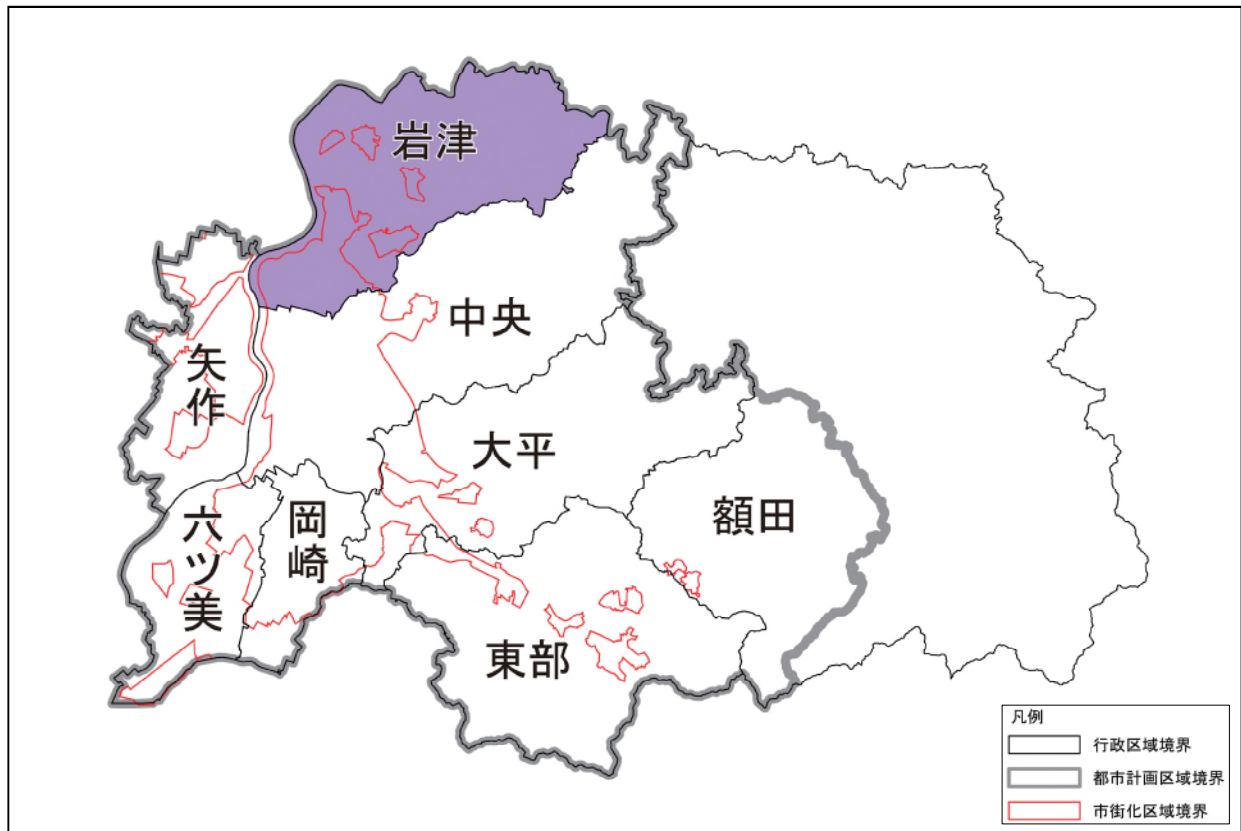


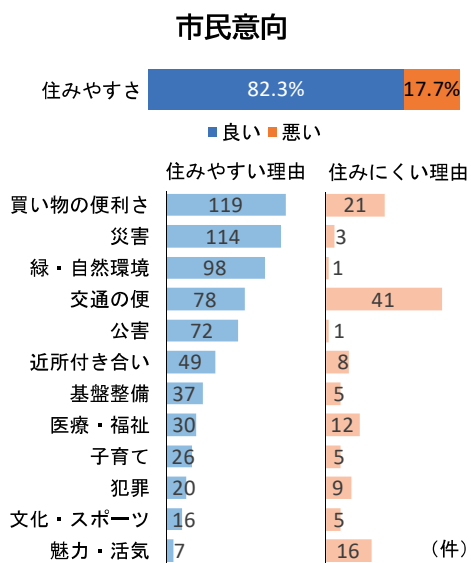
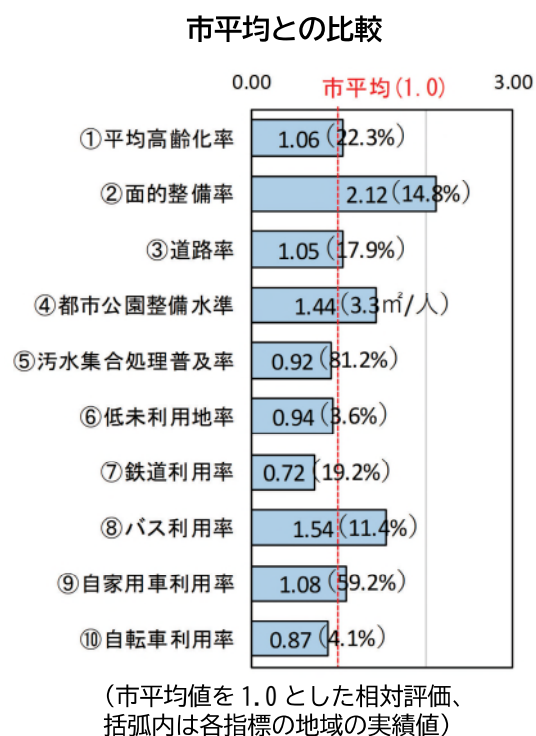
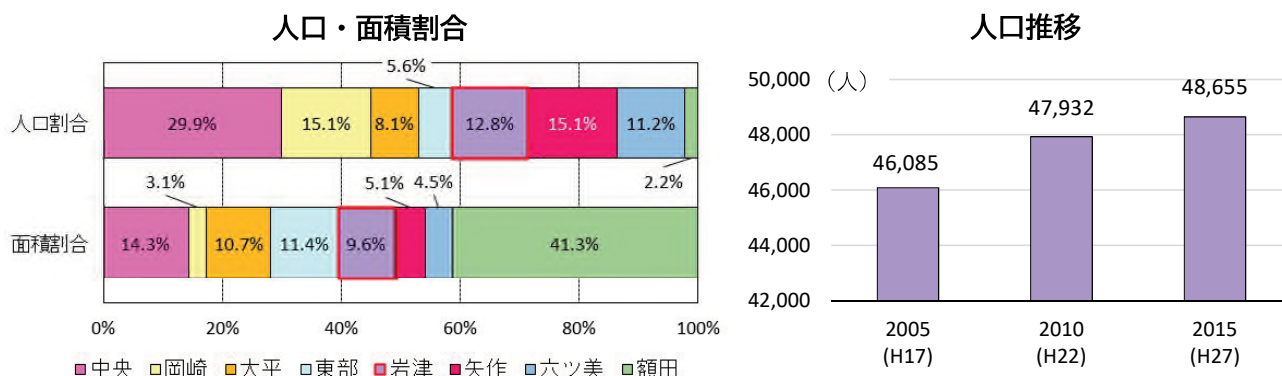
岩津地域

地域の西側の矢作川左岸平野部では、国道 248 号沿道に市街化区域※が指定され、東側ではその大半が市街化調整区域※の森林で占められており、一部団地開発による島状の市街化区域が点在しています。



2015 年人口： 48,655 人（市域全体の 12.8%）
面 積： 3,710 ha（市域全体の 9.6%）

（１）地域の現況



現況のまとめ

- ①地域の西側の矢作川左岸平野部に市街地が形成され、東側は豊かな森林や農地などがあり、集落環境の維持などが求められています。(現況)
- ②国道 248 号や地域周辺に豊田東インターチェンジなどがあり交通利便性が高い地域です。(現況)
- ③幹線道路で主要渋滞箇所があり、交通利便性の課題があります。(現況、意向)
- ④岩津バス停周辺を地域拠点に位置づけ、生活利便性を支える機能の維持・集積を図っています。(現況)
- ⑤地域内に岡崎城への眺望といった景観資源や歴史・文化資源が点在しています。(現況)
- ⑥矢作川の浸水想定区域※や地域の東側には土砂災害へのリスクがあります。(現況)
- ⑦人口は増加傾向にあり、高齢化率は市平均とほぼ同水準にあります。(比較)
- ⑧鉄道利用率は市平均より低いものの、バス利用率は市平均より高くなっています。(比較)

(現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較

(意向)：アンケート、説明会からの市民意向

（２）まちづくりの課題と目標

<岩津地域の将来像>

地域の西側では鉄道駅や支所周辺を中心に良好な居住環境※づくりを進め、東側では自然環境を保全するまちづくりを目指します。

まちづくりの課題	まちづくりの目標
主要課題１ 広域的なネットワークの変化への対応 ・広域交通の利便性の活用（現況のまとめ②）	目標１ 広域的な交通利便性を生かした産業振興による活力の向上
主要課題２ コンパクトでスマートな都市づくりへの対応 ・公共交通の利便性向上（現況のまとめ③） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ①） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ①）	目標２ 市街地と自然が調和した公共交通による利便性の高い都市環境の形成
主要課題３ 住み続けられる居住環境※の質の向上への対応 ・地域拠点の生活利便施設の維持、交流機能の強化（現況のまとめ④⑦） ・道路などの基盤施設※の充実（現況のまとめ③）	目標３ 都市機能※の強化と都市基盤※整備による利便性の高い居住環境の形成
主要課題４ 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化、観光振興への対応 ・既存ストック※を活用した交流機能の強化（現況のまとめ④） ・大樹寺一帯の良好な景観の保全と岡崎城への眺望の確保（現況のまとめ⑤）	目標４ 地域の東側の農業地や大樹寺、岡崎SAなどの地域資源を生かした広域的な交流機会の創出
主要課題５ 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応 ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑥）	目標５ 市民などととともに水害や土砂災害の危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応

（3）まちづくりの方針

土地利用※に関する方針と主な施策

1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3

良質な居住環境の形成

- ・東名高速道路の西側を中心に専用住宅地と一般住宅地を配置し、良質な居住環境の形成に努めます。
- ・工業系用途地域※で大規模な土地利用転換が生じる際は、用途地域の変更や地区計画※を活用し新たな市街地像に沿った土地利用に規制・誘導します。

2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成

目標1 目標2 目標3

準都市拠点・地域拠点の形成・・・1

- ・準都市拠点の大樹寺バスターミナル周辺では、地域住民や中山間地域の生活利便性を確保するため、商業、医療、福祉施設などの都市機能の維持、集積を図ります。
- ・地域拠点の岩津バス停周辺では周辺商業地や沿道複合地などを配置し、商業施設や医療施設などの都市機能の誘導や地域住民に必要な公共施設の立地を図ります。

沿道サービス施設の立地誘導

- ・国道 248 号など主たる幹線道路沿道は沿道複合地として、商業や業務などに係る沿道サービス施設の立地を誘導します。

教育機能の維持・充実

- ・文教・学術地では教育機能の維持・充実を図るため、必要に応じて方策を検討します。

3 産業振興に資する産業用地の確保・誘導 目標1 目標3

工業地の確保

- ・必要に応じて地区計画などを活用し、既存の工業地などの拡充や、インターチェンジ周辺、幹線道路沿道で工業用地の確保に努めます。

4 土地利用混在箇所※の相互の調和による操業環境・居住環境の確保 目標3

操業・居住環境の調和

- ・地域の南側に職住調和地を配置し、工業地と住宅地の相互の調和により、良好な操業環境、居住環境を確保します。

5 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域※の自然環境の保全 目標2

無秩序な市街化の抑制

- ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。

市街化調整区域の自然環境の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の森林や農地などの保全・活用を推進します。

集落環境の維持

- ・地域の北側では森林や農地などの自然環境を保全し、大規模集落地などでは生活環境※の維持に努めます。
- ・市街化調整区域※で既に相当な市街化が進んでいる地区では、良好な居住環境※の形成のため、幹線道路の整備にあわせて地区計画※などの活用により計画的な基盤施設※の整備を検討します。

市街地整備※に関する方針と主な施策**1 産業用地の整備 目標1****工業用地の整備推進・・・2**

- ・東名高速道路の利便性を生かし、阿知和地区での工業用地の整備を推進します。

道路・公共交通に関する方針と主な施策**1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進****目標1 目標2 目標3****都市計画道路※などの整備**

- ・国道248号の交通渋滞に対応するため、都市計画道路岡崎駅平戸橋線の整備を促進し、都市計画道路岡崎豊田線の整備を検討します。
- ・地域内の円滑な交通を図るため、市道奥殿学校線や上平徳林線、仁木八反田5号線などの整備を推進します。
- ・地域の主要渋滞箇所の改善に向け、関係機関と連携し対策を検討します。
- ・中山間地域の暮らしを支える県道長沢東蔵前線の整備を促進します。
- ・橋りょうなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施し予防保全を図ります。

スマートインターチェンジ※の整備・検討・・・3

- ・広域交通機能の更なる向上のため、(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジと各アクセス道路をはじめとする周辺道路の整備を推進します。
- ・広域交通機能の更なる向上と中山間地域の地域振興のため、新東名高速道路岡崎SAへのスマートインターチェンジの整備について関係機関と協議を推進します。

2 安全で快適な歩行者、自転車通行空間の確保 目標3**歩行者や自転車の通行空間の確保**

- ・歩行者や自転車利用者が安全・快適に移動できるよう身近な道路の整備を進めます。
- ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。

3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 目標2 目標3**都心※と地域間のバス交通の連携強化**

- ・都心と地域間のバス交通の連携強化を図るため、南北の基幹軸の維持・確保を図ります。

地域内交通の充実

- ・交通不便地域では生活の足としての交通を確保するため、地域での主体的な取組みを基礎とした移動手段の確保と利便性の向上に努めます。

4 交通結節点の利便性向上のための環境整備、ユニバーサルデザイン※化の推進

目標2 目標3

交通拠点の強化・・・4

- ・交通拠点の大門駅は、愛知環状鉄道の複線化を視野に入れ、駅舎と駅前広場の機能充実を検討します。

交通結節点の環境改善

- ・大樹寺バスターミナルでは、待合空間の整備などバス停環境の改善を検討します。

公園・緑地に関する方針と主な施策

1 風致地区※、生産緑地※、社寺林などの自然環境の保全 目標3 目標4 目標5

村積山自然公園の保全・・・5

- ・自然を生かした憩いの場を確保するため、村積山自然公園を保全します。

生産緑地の保全・活用

- ・都市農業※の保全やグリーンインフラ※の観点から、生産緑地の保全と活用を推進します。

身近な地域資源の保全

- ・自然・歴史・文化などの身近な地域資源を保全します。

河川・上下水道に関する方針と主な施策

1 治水・浸水対策の強化 目標3 目標5

河川改修などの促進

- ・矢作川の河川整備流量を安全に流下させるために、河道掘削や樹木伐開を行い必要な河道断面を確保する取組みを促進します。
- ・洪水による災害の発生の防止、被害の軽減のため、矢作川中流域圏の河川改修を促進します。
- ・河川情報の収集と情報伝達体制、警戒避難体制の充実を図ります。

2 自然環境に配慮した川づくり 目標2 目標4 目標5

自然生態系の保護

- ・矢作川の青木川合流地点から巴川合流地点ではホタルなどの自然生態系の保護に努めます。

景観・自然環境に関する方針と主な施策

1 景観計画に基づく歴史・文化資源や景観の保全 目標2 目標3 目標4

岡崎城への眺望の保全・・・6

- ・景観計画に基づき大樹寺周辺の景観の保全とともに大樹寺から岡崎城への眺望の保全に努めます。

地域資源を生かした快適な市街地の形成

- ・大樹寺など市街地に多く分布する寺社を活用し、身近に地域の歴史が感じられるような快適に暮らせる市街地の形成に努めます。

2 矢作川などの水辺空間の環境や眺望の保全による良好なまちなみ景観の誘導

目標2 目標3 目標4

景観資産と自然環境の保全

- ・中山間地域の交流を促進するため、天然記念物「奥山田のしだれ桜」や水辺のホタルを保全・活用します。

3 無秩序な開発の抑制による自然環境の保全 目標2 目標3 目標4 目標5

市街地近郊の緑の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街地近郊の森林などを保全・活用します。

おかざき自然体験の森の整備

- ・自然とのふれあいの場を確保するため、おかざき自然体験の森の整備を推進します。

防災に関する方針と主な施策

1 防災都市基盤の強化による災害に強い都市づくりの推進 目標3 目標5

公共施設の耐震化

- ・橋りょうやため池などの公共施設の耐震化を推進します。

防災機能を有する道路や広場などの整備

- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

無電柱化の推進

- ・災害に強い都市を目指して、国道248号などの緊急輸送道路※の無電柱化を促進します。

2 土砂災害対策の強化 目標5

土砂災害の防止

- ・森林の保全や災害防止施設の整備を促進し、土砂災害の防止に努めます。

3 復興事前準備の取組みの推進 目標5

災害に備える体制の検討

- ・市民や事業者などとともにまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。
- ・地震時の延焼危険性や避難・消防活動の困難性が高い地区を中心に、地区計画※などにより災害に強いまちづくりを進めます。

まちづくり構想図(岩津地域)

